

青森県高校総体は27日、県内各地でゴルフと陸上の先行開催2競技が行われた。ゴルフ個人は男子が佐々木俊輔（八学光星）、女子は工藤妙奈（八中央）が優勝。陸上の男子400mは岡村悠吾、同ハンマー投げは二本柳光俊（共に田



名部）が制した。同日予定されていた軟式野球の1回戦1試合は、雨のため28日に順延。28日の予定だった準決勝は29日にスライドする。

28日は各地で5競技が行われる。

古川(青森) 4位 東北大会へ

女子やり投げ 特別支援校生、32年ぶり



【女子やり投げ】32年86で4位に入り、特別支援学校生として32年ぶりに東北大会出場を決めた古川瑛梨奈（青森）＝青森市カクヒログループアスレチックスタジアム

女子やり投げでは、八戸出身の古川瑛梨奈（青森3年）が32年86をマークし4位入賞。記録は自己ベストに届かなかったが、自身初、特別支援学校生として32年ぶりの東北大会出場を決めた。古川は「たかさんの方がサポートしてくれてたおかげ。本当に良かった」と笑顔を浮かべた。

八戸響中等部1年から陸上を始め、砲丸投げでは市内大会で優勝経験もある。青森県入学後にやり投げに転向。手話ができる陸上競技指導者が少なく、試行錯誤しながら熱心に競技に向き合った。「記録が伸びて

いくのが楽しい」と着実に実力を伸ばし、新たな才能を開花させた。週末には八戸学院大陸上競技部の練習に足を運んで学生から技術指導を受けた。アドバイスを受ける際は身ぶり手ぶりを使得って意思疎通を図り、細かいニュアンスは、スマートフォンで文字に起こしてやりとりした。

青森県の阿保孝志朗監督は「目が聞こえない中でも、貪欲に技術を吸収しようと頑張っていた。入賞は本人の努力の成果だ」とねぎらった。卒業後の進路は未定だが、競技は続ける意向で次回アフリックピックに出場したい」と目標は高い。

（加藤弘也）

ハンデイ乗り越え開花

陸上
（青森市カクヒログループアスレチックスタジアム）
【男子】
▽400m ①岡村悠吾（田名部）49秒93 ②手間本（大湊）50秒09 ③工藤（弘前美）50秒15 ④澤田（木造）51秒00 ⑤佐藤（青森）51秒00 ⑥山田（大湊）51秒00 ⑦熊谷修也（青森山田）51秒00 ⑧戸来（八学光星）51秒00 ⑨伊藤（青森山田）51秒00

田 3分57秒79 ④中村（八学光星）5分50秒70 ⑤中里優希（尾上総走）6分06秒86 ⑥外崎（弘前美）6分33秒 ⑦福田（八戸西）6分57秒4 ⑧奈良（青森）5分51秒 ⑨平井（弘前美）5分51秒 ⑩中村晋太郎（八中）5分51秒 ⑪出場1人
▽ハンマー投げ ①二本柳光俊（田名部）43秒30 ②堀井（弘前美）44秒56 ③小笠原（東奥学園）39秒

18 ④青木（青森北）5分23秒 ⑤三浦（木造）5分23秒 ⑥坂田（柏農）5分23秒
【女子】
▽400m ①三上雅（青森）57秒99 ②工藤（弘前美）59秒82 ③坂田（同）1分00秒11 ④瀧本（青森北）1分00秒11 ⑤山田（大湊）1分00秒11 ⑥倉本（青森北）1分00秒11 ⑦出場1人
▽定通同 ①馬場愛枝（八中）1分18秒94 ②鎌田（北斗）1分25秒83

▽5000m ①競歩 ②森絆菜（青森北）29分31秒21 ③江畑（青森山田）30分42秒69 ④吉永（三本木）32分41秒74 ⑤堀井（三本木）32分41秒74 ⑥長瀬（同）32分41秒74 ⑦出場1人
▽ハンマー投げ ①鈴木珊瑚（弘前美）39秒23 ②成田（弘前）39秒23

35 ⑥55 ⑦東（同）34分33秒 ⑧杉山田（名部）55分 ⑨松原（東奥学園）55分 ⑩小澤（弘前美）55分
▽やり投げ ①鈴木珊瑚（弘前）40分96秒 ②元木（同）38分55秒 ③鈴木和（同）33分40秒 ④古川（青森）32分41秒 ⑤山崎（大湊）32分41秒 ⑥全井（五所川原）32分41秒

いくつかの「記録が伸びていくのが楽しい」と着実に実力を伸ばし、新たな才能を開花させた。週末には八戸学院大陸上競技部の練習に足を運んで学生から技術指導を受けた。アドバイスを受ける際は身ぶり手ぶりを使得って意思疎通を図り、細かいニュアンスは、スマートフォンで文字に起こしてやりとりした。